

第1回  
広報  
市民リポーター  
だより

今月から新リポーター陣による取材記事をお送りします。  
第一回は、高松リポーターが神山荘を訪ね家庭介護とシヨートステイ制度について、橋本リポーターは大館天文クラブを訪ねて、環境問題にも携わるクラブの活動についてレポートしました。

# 家庭介護のにない手として

リポーター 高松イク(十二所)

高齢化社会と言われているが、人間だれもが、健康で長寿に恵まれることを、そして家族と一緒に楽しい老後であることを願うのではないのでしょうか。身心共に老いた人々、なるべくから家族で世話をしたいと家庭療養・看護をしている人が、事情が生じた場合どこへSOSを発信すればいいのか、手続きはどうすればよいのかに的を絞り、県内で初めてシヨートステイ(一週間から二週間の短期療養)施設が併設された「神山荘」を訪ねました。

その結果、現在すでにほぼ一〇〇%近い利用状況であることが分かり、この制度がいかにかに家庭介護者から待ち望まれたものであったかを知らされた思いがしました。そこで、二十人という受け入れ枠を超える申し込みがあつて、断るような場合もあるのかを伺ったところ、「そのようなケースが一度ありましたが、デイサービス用の施設の活用もできますし、ここが満員でも同じような施設と連絡をとって、そちらを紹介するようにしています。お役所と違って土・日休



高松リポーター(左)と内藤施設長

みではないですから、老人問題でお困りの方はいつでも神山荘へ電話してください。とのことでした。一一〇番、一一九番するように、老人介護の問題なら神山荘というような施設になりたいと言ふ施設長の言葉が、私には本当にありがたいものに感じられ、家庭で介護している人たちの心強い助っ人を見たように思いました。

神山荘の中も案内していただきましたが、近代的な設備で部屋も清潔でした。医療面では看護婦三人が常駐、週二回は医師の検診もあるとのこと、至れり尽くせりの施設です。職員の方々が温かく介護する姿を目のあたりにし、安心して老いたいのだという思いがしました。今回の訪問は、私の中にあつた老人施設への認識を深めてくれたと思います。地域社会と共存し、隔絶した感じがないので、家庭介護でお困りの人は、神山荘を思い出してください。

## 地球の大切さ！大館天文クラブ

リポーター 橋本 昇(御成町一丁目)

「大館天文クラブ」、ご存知ですか？。子供の教育、地域の環境調査など幅広く活動している天文クラブの小池代表からお話を伺いました。

屋も清潔でした。医療面では看護婦三人が常駐、週二回は医師の検診もあるとのこと、至れり尽くせりの施設です。職員の方々が温かく介護する姿を目のあたりにし、安心して老いたいのだという思いがしました。今回の訪問は、私の中にあつた老人施設への認識を深めてくれたと思います。地域社会と共存し、隔絶した感じがないので、家庭介護でお困りの人は、神山荘を思い出してください。

▽クラブ創設のいきさつは？  
私が大学生のころ、望遠鏡で土星のリングを見てとても感動しました。以来、宇宙との付き合い合いです。同好の人たちが集まると、クラブは自然発生的にできました。今年で十五年になり、会員は十三人です。

▽最近、オースチン彗星が話題になったようですが？  
昨年十二月に発見された新彗星です。三年前のハレー彗星以上の明るさといわれて楽しみにして



橋本リポーター(右)と小池さん

▽環境汚染についても調査しているようですね？  
ええ、酸性雨の調査を始めて三年目です。被害は出ていませんが、出てない今からのデータが重要と考えています。森林や湖沼、川などの生態系を著しく破壊する酸性雨、森林資源の多い大館は、市としても積極的に取り組むべきだと思います。確実にやってくる大きな問題なので、すから。

▽天文クラブの活動は、私たちに大きな問題を提起しています。子供に自然を大切にすることを教え、環境汚染を問う。市の協力等があれば、早め早めに手をうつるのではないのでしょうか。

同クラブのデータには、強い関心を持っていきたいものです。

◇広報市民リポーターだよりは、毎月1日号で、6人のリポーターが独自に取材した記事を掲載します。